

「雑草魂」 第 26 号

2020.11.19(木) 編集責任者：橋山 直記

実力テストのやり直しをしよう ～社会編

社会が苦手なら、小学校の教科書で勉強し直そう！！

今回は実力テストの社会の資料の読み取りを行う。まず、公立入試問題の出題傾向について確認する。昨年度の問題は、歴史的分野、地理的分野、公民的分野の順に出題され、基礎的・基本的な事項を中心にバランスよく出題されます。また、各分野で、統計や図形等の資料を読み取り解釈し、説明する問題も出題されます。ここで大切なのが、『基礎的・基本的な事項を中心に』出題されているということです。つまり、基礎基本が理解できていなければ、ほとんどの問題が解くのが困難となるということです。そこで、これは私の中学校の先生から教えてもらった方法ですが、「とっても社会が苦手なら、小学校の教科書で勉強しろ」です。小学校で習った内容をさらに深くしていくのが中学校の学習なら、小学校の勉強はとても大切になります。必ず覚えなければいけない基礎基本は小学校の教科書にもっているはずなので、まずはそこをおさえましょう。

さて、今回は資料の読み取りですので、実力テスト No.3 の③問5を復習しましょう。

実力テスト NO.3 の問題を準備しよう 資料を読み、自分で考え、下に解答を書こう

解答

～によって

この問題を見て、先生が思ったことは N の国がどこかはわからなくても解ける問題だと思いました。20字以内という制限が、難しそうに感じますが、「人口」「食料」「～によって」という言葉を使わなければいけないと考えると、自分で答える文字数は、12文字程度。資料Ⅳは「食料」資料Ⅴは「人口」についてのことで問題の意味を考えると、資料Ⅴ（人口）によって料Ⅳ（食料）がどうなることが心配なのかというふうになります。さぁみんな考えましょう！！